

事後評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成22年6月18日（金）

研究課題	ブドウ搾り滓を活用した家畜排せつ物の堆肥化および環境負荷低減化技術の開発	
研究期間	平成19年度～21年度	
	評価項目	平均点
	1 研究課題選定の妥当性	3.8
	2 目標の達成度	4.2
	3 研究成果の活用及び実用化の可能性	3.8
	4 今後の発展性	4.0
	5 総合評点	4.2
<p>ブドウ搾り滓の添加が豚ふん堆肥の作製において十分な消臭効果を持つこと、作製した堆肥が作物栽培において化学肥料と同等の効力を示すことを実証しており、高く評価できる。</p> <p>また、消臭の原因として、ポリフェノールと放線菌の関与を明らかにした点も評価できる。</p> <p>堆肥（連用）の効果は年月とともに高くなることも推定できることから、今後の継続的な調査とともに、堆肥のブランド化、商品化の検討も重要だと思われる。</p>		